

地質ニュース

第557号 2001年1月

目 録

三宅島2000年噴火と そこで活動したマグマ

宮城 磯治・東宮 昭彦・伊藤 順一・川邊 禎久・
中野 俊・風早 康平・篠原 宏志・宇都 浩三・1

巻頭エッセイ：過去の解明の科学から未来予測の科学へ

-21世紀の新しい地質調査サービス機関をめざして- 小玉喜三郎・6

三宅島2000年噴火 -噴出物編-

宮城 磯治・東宮 昭彦・星住 英夫・伊藤 順一・川邊 禎久・
佐藤 久夫・斉藤 元治・濱崎 聡志・中野 俊・高田 亮・
山元 孝広・宇都 浩三・森下 祐一・木多 紀子・7

堆積物コアの見方 -堆積物記載入門- 池原 研・14

近畿の石材(切石) -竜山石- 小村 良二・26

瓦の話(6) 南九州の瓦と原料粘土 須藤 定久・33

[話題] 岩石顕微鏡で瓦を覗くと 平野 英雄・44

西暦2000年世界地熱会議 安川 香澄・45

地質標本館20年のあゆみ 地質標本館・54

石の俗称 菊の石 遠藤 祐二・加藤 碩一・59

北京の小さな地質系博物館 -中国古動物館- 村尾 智・64

全地連(全国地質調査業協会連合会)「技術フォーラム2000」神戸(2000年9月21-22日)
66

新刊紹介 Aspect of Tectonic Faulting 増田 幸治・67

編集後記 68

表 紙

三宅島2000年噴火：火山灰の除去作業が続く中で2000年8月19日に行った三宅島噴出物調査の様子(阿古北部)。三宅島の雄山は8月18日に同年最大規模の噴火を起こした。地質調査所では6月28日以来断続的に所員を三宅島に派遣し、関係各方面との協力下、地殻変動に伴う割れ目の分布調査、火山灰や噴石の調査および試料採取、地下水の調査、火山ガス観測、ヘリコプターや無人カメラによる目視観察、等を行っている。9月中旬から膨大な量の二酸化硫黄の放出が継続中で、9月1日に決定された全島避難は、本稿執筆時も解除されていない。

(写真：伊藤順一，文：宮城磯治)

<お知らせ>

2001年1月6日より「通商産業省 工業技術院 地質調査所」は「経済産業省 産業技術総合研究所 地質調査所」と名称が変わります。

通商産業省 工業技術院 地質調査所

☎305-8567 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-61-3520, Fax. 0298-61-3569

Geological Survey of Japan

<http://www.gsj.go.jp/HomePageJP.html>